

社 協

かわしま

最終号

発行

社会福祉法人

川島町社会福祉協議会

羽島郡川島町松倉町1951番地4

(町民会館内)

TEL (0586)89-7511

FAX (0586)89-7512

E-mail k-shakyo@ccn2.aitai.ne.jp



川島町社協運営にご協力いただきありがとうございました。

11月1日より、川島町社会福祉協議会は、各務原市社会福祉協議会と合併します。法人化して3年と7ヶ月という短い期間ではありましたが、社協運営・事業実施に多くの町民の皆様にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

新市社会福祉協議会にも是非ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

お知らせ版

平成16年
11月より

社協事務所の場所が変わります。

市、町と同様に、社会福祉協議会も11月1日をもって合併し、新市社会福祉協議会が発足します。それに伴い、現在の川島町社協の事務所はなくなり、各務原市社協の事務所へ変わります。11月以降の社協の連絡先、住所は以下の通りとなります。よろしくお願い致します。

①総合窓口・支部社協 ボランティア活動に関することなど

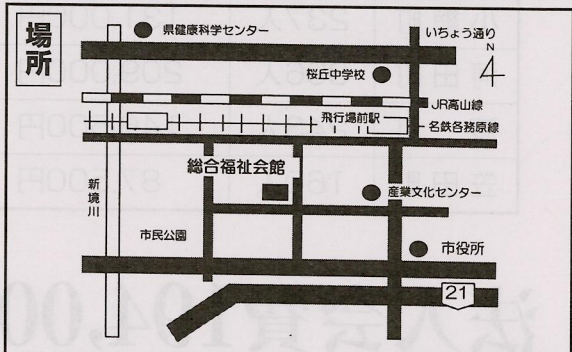
●社会福祉法人各務原市社会福祉協議会
〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地
各務原市総合福祉会館2階
TEL.0583-83-7610
FAX.0583-82-3233

③介護保険事業に関することなど

●各務原市介護保険相談センター
●各務原市社協訪問介護センター 那加ステーション
●各務原市社協訪問入浴サービスセンター
〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地
各務原市総合福祉会館2階
TEL.0583-83-7623
FAX.0583-82-3233

②保健福祉サービスの 相談利用に関することなど

●各務原市総合在宅介護支援センター
〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地
各務原市総合福祉会館2階
TEL.0583-83-7624
FAX.0583-82-3233



音訳ボランティア養成講座 受講生募集

社協の広報紙などを音訳し、視覚障害の方に情報を届けるのが音訳ボランティア活動です。はじめて音訳を学ぶ方が対象です。講座終了後、継続してボランティア活動をしていただける方を募集します。

日程 平成16年10月5日～平成17年2月1日
毎週火曜日 全15回
(11月23日、12月28日、1月4日は除く)
時間 午前9時30分～11時30分
講師 テープマガジンあじさいの会
場所 各務原市総合福祉会館3階 研修室他
受講料 1,000円
定員 20名(定員になり次第締め切ります)
申込み 各務原市社会福祉協議会
電話 0583-83-7610

介護・心配ごと相談事業

■今後の開催日■

10月	1日(金)	8日(金)	15日(金)
	介護・心配	人権・行政	介護・心配

11月以降の心配ごと相談は・・・

各務原市社協の

「心配ごと相談室」をご利用ください。

民生児童委員・人権擁護委員の方が親身にお話をうかがいます。秘密は厳守します。

電話での相談も承ります。

予約制ではありませんので、直接お越しください。

開設日 毎週火・木曜日 午後1時～4時

場所 各務原市総合福祉会館2階
心配ごと相談室

電話での相談・問合せ 各務原市社会福祉協議会 地域福祉係
電話 0583-83-7610

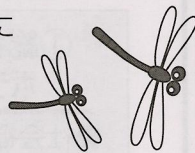
平成16年度 社協会費納入ご協力 ありがとうございました。

平成16年度社協会費につきましては、多くの町民の皆様にご加入いただきありがとうございました。また、町内会長さん、組長さん、班長さんにはご多忙の中、ご協力をいただきましてありがとうございました。

法人・賛助会費につきましても、7月～8月前半にかけてご協力いただき誠にありがとうございました。

皆様にご協力いただいたこの会費は、合併後も福祉のより一層の充実のために大切に使用させていただきます。

今後ともよろしくお願い致します。



一般会費1,004,000円 (9月8日現在)

地 区	人 数	金 額	地 区	人 数	金 額
小 網 町	237人	131,000円	松 倉 町	395人	216,000円
河 田 町	396人	209,000円	松 原 町	217人	149,000円
渡 町	243人	146,500円	北 山 町	32人	16,000円
笠 田 町	160人	87,500円	緑 町	97人	49,000円

法人会費194,000円 (9月8日現在)

法人会員

丸美然糸(有)	岐阜南農協川島支店	かわしま接骨院	(株)浅野建設	(株)スーパーヨシノヤ川島店
三 盛(有)	(有)荻谷看板サービス	酒の一番館	(株)三 喜	マルヤス
野田接骨院	サークルK川島支店	荻章織物(株)	(株)横山建材	脇田組
新光繊維(有)	(株)尾関水道工業所	(株)荻谷製作所	魚 正	川瀬新聞店
野田芳然糸(有)	コアミ製作所(株)	(株)大 廣	丸太然糸(有)	(株)オアシスパーク
サンワ産業(株)	桜井産業	川島建装(株)	本家かまどや川島支店	川島石油(有)
(有)オゼキ	(株)岩田電機	(株)クリニカルサブライ	レリアンス(株)	エーザイ(株)
(有)翔和内装	ミワマサニット(株)	脇田建設(有)	(株)サカタ	(有)エアマート
(株)十六銀行川島支店	(株)大一テクノ	ホープクリーニング愛知(有)	(株)川瀬組	豊仲然糸工場(資)
(株)永田組	社会福祉法人・福寿会	(株)キミヤ	ローソン川島町松原店	
(株)レディースファッション川富		川島町役場親睦会		

(順不同 敬称略)

賛助会費34,000円 (9月8日現在)

賛助会員

小島利郎	荻谷憲治	焼山勝代	小島 操	柴 芳子	小島千恵
岩田政光	三輪征枝	野田一夫	鈴木正子	野田陽子	野田國男
野田マツ子	脇田 要	脇田智子	大脇猪祚雄	田中八宏	

(順不同 敬称略)

今年の夏はどんな夏？



▶ 段差はうまく越えられる？



▶ 施設の説明をうけます。

ワーク キャンプ

実施日 7月27日～28日 7月29日～30日
8月1日～2日 8月3日～4日

参加者 郡内31名(川島町 中学生13名)

内 容 羽島郡内の中高生を対象とした、リバーサイド川島園での宿泊介護体験。車いす講習や施設の説明、実際の介助体験や、職員への質問などを通じて、施設での高齢者福祉について学習しました。



▶ 「一緒に貼り絵をやりました。」



▶ 職員の方に質問。

今回のワークキャンプに参加した理由を教えてください

- ・ 受験で福祉科に進みたいと思っていた。一度、実際の福祉の現場がどんなものか知りたくて参加した。(中3女子)
- ・ 前に1度リバーサイドを訪ねて、高齢者の方とお話や、介助をしている人を見て、こういう仕事に興味をもったから。(中3女子)

ワークキャンプに参加してよかったことを教えてください

- ・ 感謝してもらえ喜びを知ることができた。職員の方が言ってくれたように、その人を知るには、接することが一番良い方法だと思いました。(中3女子)
- ・ 福祉の仕事の難しさと楽しさを少しだけですが見る事ができてよかった。(中3男子)

働いている職員の方について感じたことを教えてください

- ・ 高齢者の方が好きじゃないと絶対に続けれない仕事だなと思いました。ストレスとかを感じながらも明るく接してあげられるのがすごいと思った。(中3女子)
- ・ しっかりお年寄りのことを考えて接しているところがすごいと思いました。(中3男子)

全体を振り返って感じたことを教えてください

- ・ 人と人が触れ合うのは楽しいなあと思いました。でも同時に難しいなあと改めて実感しました。いくら寝たきりで意志疎通ができなくても相手は「物」ではないわけで、気持ち・心を忘れてはいけなかった。と思いました。(高3女子)
- ・ こういった仕事は、あししなければいけない、こうしなければいけないと考えることも大切なことだけど、自分自身が楽しんでやるといことも大切だということが分かりました。(中3女子)

ワークキャンプ参加者感想

「いろんな体験いっぱいしたよ！」



1

話をしながらお手伝い。



2



3

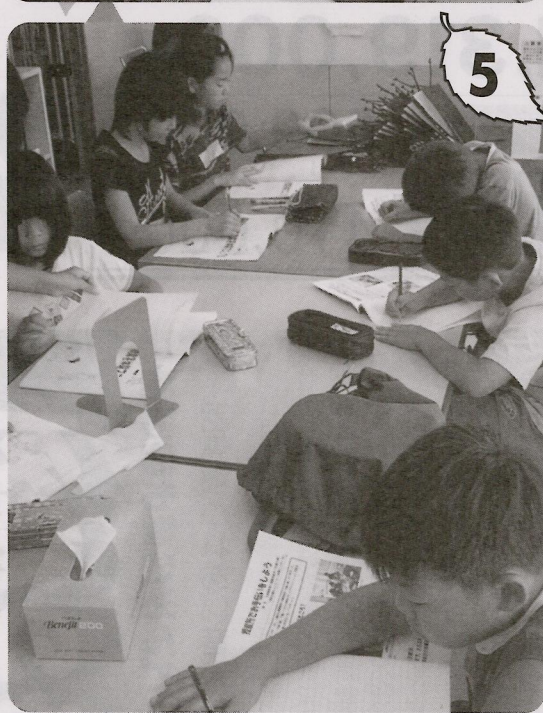
みんな真剣そのもの！

福祉体験交流教室

実施日 8月24日・25日

参加者 町内小中学生 9名

内容 高齢者疑似体験や、車いす体験、ミニデイサービスや、小規模授産所「友愛の家」の利用者の方との交流など、体験を中心とした福祉学習を行いました。



5

2日間の体験は、どうでしたか？

車いすにて便座の高さといっしょなんだね！



4

写真1…高齢者疑似体験。階段の上り下りや、暮石つかみなどを行いました。
写真2…ミニデイサービスを利用しているお年寄りとの交流。小物作りのお手伝いをしました。
写真3…小規模授産所での紙袋作り。
写真4…車いす体験。障害者用のトイレに入りました。
写真5…最後はみんなでまとめ。



手作りうちがわ大人気！

各務原福祉フェスティバル参加
九月五日（日）に第二十三回各務原市福祉フェスティバルが行われ、今年も川島町社会福祉協議会として参加させていただきました。今年は「友愛の家」の利用者の方の作品展示と、川島の方言の紹介、手作りうちがわ作りを行いました。当日の天気は雨にも関わらず、川島のブースには二五〇人以上の人が訪れ、展示品を見たり、オリジナルのうちがわを作りに参加していただきました。

共同募金にご協力を



一人ひとりのやさしい気持ちが、
まちの福祉を支えています。

私も参加します。
石原さとし

赤い羽根共同募金に、ご協力をお願いします。

10月1日▶12月31日

www.akaihane.or.jp

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、今年も十月一日から十二月三十一日までの期間、全国一斉に赤い羽根共同募金活動が行われます。

毎年皆さんからご協力いただきます募金は、様々な社会福祉施設や団体の活動、各種福祉事業の実施や福祉機器の購入、在宅福祉活動等に役立てられます。

町内会や民生委員を通じての募金のご依頼の際には、ぜひご協力をお願い致します。尚、岐阜県共同募金会からの川島町の目標額は、赤い羽根募金と歳末たすけあい募金をあわせて、百三十二万九千円です。

川島町の目標額

1,319,000円

●赤い羽根募金 909,000円

●歳末たすけあい募金 410,000円



友愛の家だより

観客席も巻き込んで・・・

～羽島郡ふれあい音楽会～

八月十日(水)、毎年恒例の羽島郡ふれあい音楽会が、岐南町やすらぎ苑で行われました。郡内四町の小規模授産所の利用者の方々が参加し、この日のために練習してきた出し物を発表し合いました。昨年に引き続き、富田学園ギター・マンドリン部の方々にも演奏していただきました。

川島町「友愛の家」は、色々な曲を替え歌や手遊び、ダンスで発表しました。特に「ダンシングクイーン」の曲に合わせたダンスでは、舞台、客席関係なく全員で盛り上がり、夏の楽しいひとときを過ごすことができました。(写真 左)



河川環境楽園を満喫

～各務原市授産所との交流～

七月二十六日(月)、各務原市の小規模授産所「虹の家」の利用者の方との交流として、河川環境楽園へ出掛けました。現地でそれぞれの利用者同士で自己紹介を行いました。その後は、今年できたばかりの観覧車に乗ったり、水族館を見学したりと盛り沢山の一日を過ごしました。特に水族館の長良川のコーナーでは、見慣れた魚ということもあり、より身近に感じることができたようです。(写真 右)

